

# 古文ドリル：「つつ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「つつ」の正体（3用法）

古文の接続助詞「つつ」は、**反復・並行・継続**の3つの意味を持ちます。**連用形にのみ接続**する点が「ながら」との大きな違いです（「つつ」は体言に付かない）。

用法	意味	訳	例
① 反復	同じ動作のくり返し	～しては	寄せ <b>つつ</b> 返す
② 並行	2つの動作が同時	～しながら	歩き <b>つつ</b> 歌ふ
③ 継続	動作・状態が続く	～し続けて	物思ひ <b>つつ</b>

接続は**動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の連用形**。活用しません。和歌の結句の前に置かれて余情を生む用法も頻出です。

### 識別の鉄則

1. **直前は必ず連用形**（四段はイ段、下二段はエ段、カ変は来〔き〕、サ変は「し」）。体言+つつは不可。
2. **同じ動作のくり返し** → **反復**「～しては」。
3. **2つの動作が同時** → **並行**「～しながら」。
4. **動作・状態が続く**（特に心情） → **継続**「～し続けて」。和歌の余情もここ。
5. 「ながら」は体言にも付き逆接もあるが、「つつ」は連用形のみ・逆接なし。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず連用形を確認

- 「つつ」の直前は連用形（歩き・思ひ・見・寝〔ね〕）。体言なら「つつ」ではない。

### コツ② 反復・並行・継続を文脈で

- くり返しの動作（寄せては返す） → 反復。
- 同時の動作（歩きながら歌う） → 並行。
- 心情・状態が続く（物思いにふけり続ける） → 継続。

### コツ③ 和歌の結びの前は余情の継続

- 和歌末に「～つつ」とあれば、余韻を残す継続の用法が多い。

### よくある引っかけ

- すべて「～ながら」と訳さない。反復・継続が古文では重要。
- 「ながら」は体言+ながら（昔ながら）が可、「つつ」は不可。

## 採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

## 【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

反復・並行・継続の3用法を見分ける。

### Q1. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

波寄せ**つつ**返す。

**答え**：反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説**：「寄せ」は下二段「寄す」連用形。寄せては返すのくり返し。「波が寄せては返す」。反復。

### Q2. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

歩き**つつ**歌ふ。

**答え**：並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説**：「歩き」は四段「歩く」連用形。歩く動作と歌う動作が同時。「歩きながら歌う」。並行。

### Q3. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

物思ひ**つつ**寝（い）ぬ。

**答え**：継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説**：「思ひ」は四段「思ふ」連用形。物思いが続く心情。「物思いを続けながら寝る」。継続。

---

### Q4. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

行き**つつ**帰り**つつ**す。

**答え**：反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説**：「行き」「帰り」は四段連用形。行っては帰るのくり返し。「行ったり帰ったりする」。反復。

---

### Q5. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笛吹き**つつ**行く。

**答え**：並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説**：「吹き」は四段「吹く」連用形。笛を吹く動作と行く動作が同時。「笛を吹きながら行く」。並行。

---

### Q6. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

月を眺め**つつ**明かす。

**答え**：継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説**：「眺め」は下二段「眺む」連用形。月を眺め続ける。「月を眺め続けて夜を明かす」。継続。

---

### Q7. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

散り**つつ**積もる。

**答え**：反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説**：「散り」は四段「散る」連用形。散っては積もるのくり返し。「散っては積もる」。反復。

---

### Q8. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

泣き**つつ**語る。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「泣き」は四段「泣く」連用形。泣く動作と語る動作が同時。「泣きながら語る」。並行。

---

**Q9. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

恋ひ**つつ**ぞ経る。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「恋ひ」は上二段「恋ふ」連用形。恋い慕う心情が続く。「恋い慕い続けて過ごす」。継続。

---

**Q10. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

見**つつ**忘る。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。見る動作と忘れる動作が同時的。「見ながら（次々と）忘れる」。並行。

---

**Q11. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

来（き）**つつ**去り**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「来（き）」はカ変「来」連用形。来ては去るのくり返し。「来ては去る」。反復。カ変連用形は「き」。

---

**Q12. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

杖つき**つつ**歩む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「つき」は四段「つく」連用形。杖をつく動作と歩む動作が同時。「杖をつきながら歩む」。並行。

---

**Q13. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

待ち**つつ**今日も暮れぬ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「待ち」は四段「待つ」連用形。待つ状態が続く。「待ち続けて今日も暮れた」。継続。

---

Q14. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寄せ**つつ**かへる波。

答え：反復の接続助詞「つつ」（～しては） 解説：「寄せ」は下二段連用形。寄せては返すのくり返し。「寄せては返す波」。反復。

---

Q15. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

食ひ**つつ**話す。

答え：並行の接続助詞「つつ」（～しながら） 解説：「食ひ」は四段「食ふ」連用形。食う動作と話す動作が同時。「食べながら話す」。並行。

---

Q16. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

嘆き**つつ**年を経。

答え：継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） 解説：「嘆き」は四段「嘆く」連用形。嘆く心情が続く。「嘆き続けて年月を過ごす」。継続。

---

Q17. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

立ち**つつ**ゐ**つつ**す。

答え：反復の接続助詞「つつ」（～しては） 解説：「立ち」「ゐ」は連用形。立っては座るのくり返し。「立ったり座ったりする」。反復。

---

Q18. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笑ひ**つつ**言ふ。

答え：並行の接続助詞「つつ」（～しながら） 解説：「笑ひ」は四段「笑ふ」連用形。笑う動作と言う動作が同時。「笑いながら言う」。並行。

---

Q19. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

偲（しの）び**つつ**過ぐす。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「偲び」は上二段「偲ぶ」連用形。偲ぶ心情が続く。「偲び続けて過ごす」。継続。

**Q20. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

せ**つつ**やめ**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「せ」はサ変「す」連用形。してはやめるのくり返し。「したりやめたりする」。反復。サ変連用形は「し」が普通だが、ここは「せ」も用いられる。

## 【第2部】 標準編（Q21～Q50）

文脈で反復・並行・継続を絞り込む。

**Q21. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

涙を流し**つつ**祈る。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「流し」は四段「流す」連用形。涙を流す動作と祈る動作が同時。「涙を流しながら祈る」。並行。

**Q22. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

思ひ出で**つつ**泣く。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「出で」は下二段「思ひ出づ」連用形。思い出す心情が続く。「思い出し続けて泣く」。継続。

**Q23. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

咲き**つつ**散り**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「咲き」「散り」は四段連用形。咲いては散るのくり返し。「咲いては散る」。反復。

**Q24. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

経（きやう）読み**つつ**行く。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「読み」は四段「読む」連用形。経を読む動作と行く動作が同時。「経を読みながら行く」。並行。

**Q25. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

わびしと思ひ**つつ**住む。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。わびしいと思う心情が続く。「わびしいと思ひ続けて住む」。継続。

**Q26. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

降り**つつ**やみ**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「降り」「やみ」は四段連用形。降ってはやむのくり返し。「降ってはやむ」。反復。

**Q27. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

数珠（ずず）繰り**つつ**念ず。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「繰り」は四段「繰る」連用形。数珠を繰る動作と祈る動作が同時。「数珠を繰りながら祈る」。並行。

**Q28. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

慕ひ**つつ**年を送る。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「慕ひ」は四段「慕ふ」連用形。慕う心情が続く。「慕ひ続けて年を送る」。継続。

**Q29. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

取り**つつ**捨て**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「取り」「捨て」は連用形。取っては捨てるのくり返し。「取っては捨てる」。反復。

---

**Q30. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

月見**つつ**酒飲む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「見」は上一段連用形。月を見る動作と酒を飲む動作が同時。「月を見ながら酒を飲む」。並行。

---

**Q31. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

待ち**つつ**ぞ明かす。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「待ち」は四段連用形。待つ状態が続く。「待ち続けて夜を明かす」。継続。

---

**Q32. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

浮き**つつ**沈み**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「浮き」「沈み」は四段連用形。浮いては沈むのくり返し。「浮いては沈む」。反復。

---

**Q33. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

文書き**つつ**涙す。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「書き」は四段「書く」連用形。文を書く動作と涙する動作が同時。「手紙を書きながら涙を流す」。並行。

---

**Q34. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

恋ひわび**つつ**経（ふ）。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「わび」は上二段「わぶ」連用形。恋い嘆く心情が続く。「恋い嘆き続けて過ごす」。継続。

---

**Q35. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

笑ひ**つつ**泣き**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「笑ひ」「泣き」は四段連用形。笑っては泣くのくり返し。「笑ったり泣いたりする」。反復。

---

**Q36. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

舞ひ**つつ**袖を返す。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「舞ひ」は四段「舞ふ」連用形。舞う動作と袖を返す動作が同時。「舞いながら袖を返す」。並行。

---

**Q37. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

ながめ**つつ**過ごす。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「ながめ」は下二段「ながむ」連用形。物思いにふける状態が続く。「物思いにふけり続けて過ごす」。継続。

---

**Q38. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

結び**つつ**解き**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「結び」「解き」は四段連用形。結んでは解くのくり返し。「結んでは解く」。反復。

---

**Q39. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

手をたたき**つつ**笑ふ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「たたき」は四段「たたく」連用形。手をたたく動作と笑う動作が同時。「手をたたきながら笑う」。並行。

---

**Q40. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

嘆き**つつ**ひとり寝（ぬ）る。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「嘆き」は四段連用形。嘆く心情が続く。「嘆き続けてひとり寝る」。継続。和歌で頻出。

---

**Q41. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

出で**つつ**入り**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「出で」「入り」は連用形。出では入るのくり返し。「出たり入ったりする」。反復。

---

**Q42. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

道行き**つつ**歌よむ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「行き」は四段連用形。道に行く動作と歌を詠む動作が同時。「道を歩きながら歌を詠む」。並行。

---

**Q43. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

偲び**つつ**ぞ来（こ）し。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「偲び」は上二段連用形。偲ぶ心情が続く。「偲び続けてやって来た」。継続。

---

**Q44. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

寄り**つつ**離れ**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「寄り」「離れ」は連用形。寄っては離れるのくり返し。「寄っては離れる」。反復。

---

**Q45. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

火を灯し**つつ**読む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「灯し」は四段「灯す」連用形。火を灯す動作と読む動作が同時。「火を灯しながら読む」。並行。

---

**Q46. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

あくがれ**つつ**過ごす。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「あくがれ」は下二段「あくがる」連用形。心がさまよう状態が続く。「心がさまよい続けて過ごす」。継続。

**Q47. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

見え**つつ**隠れ**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「見え」「隠れ」は下二段連用形。見えては隠れるのくり返し。「見えては隠れる」。反復。

**Q48. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

物語し**つつ**夜更かす。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「し」はサ変「す」連用形（物語す）。物語をする動作と夜更かしする動作が同時。「話をしながら夜更かしする」。並行。

**Q49. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

思ひ**つつ**ぞ寝にける。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。思う心情が続く。「(恋しく)思い続けて寝てしまった」。継続。和歌の余情。

**Q50. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

もみぢ葉の散り**つつ**流る。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「散り」は四段連用形。散っては流れるのくり返し。「紅葉が散っては流れる」。反復。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

紛らわしい並行と継続、各活用の連用形を見分ける。

**Q51. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

知り**つつ**問ふ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「知り」は四段連用形。「つつ」に逆接はないので、知る状態を保ちながら問う＝並行と取る。「知りながら問う」。並行。（逆接で訳すなら「ながら」を使う。）

---

**Q52. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

起き**つつ**まどろむ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「起き」は上二段「起く」連用形。起きた状態が続く。「起きた状態を続けてうとうとする」。継続。

---

**Q53. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

寄せ**つつ**返し**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「寄せ」「返し」は連用形。寄せては返すのくり返し。反復。

---

**Q54. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

念じ**つつ**こらふ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「念じ」はサ変「念ず」連用形。我慢する状態が続く。「我慢し続けてこらえる」。継続。

---

**Q55. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

数（かず）かぞへ**つつ**待つ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「かぞへ」は下二段「かぞふ」連用形。数を数える動作と待つ動作が同時。「数を数えながら待つ」。並行。

---

**Q56. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

暮らし**つつ**今日に至る。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「暮らし」は四段「暮らす」連用形。日々を過ごす状態が続く。「過ごし続けて今日に至る」。継続。

---

**Q57. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

立ち返り**つつ**眺む。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「返り」は四段連用形。振り返ってはまた眺めるのくり返し。「振り返っては眺める」。反復。

---

**Q58. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

ささやき**つつ**過ぐ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「ささやき」は四段「ささやく」連用形。ささやく動作と過ぎる動作が同時。「ささやきながら通り過ぎる」。並行。

---

**Q59. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

心細く思ひ**つつ**居（を）り。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。心細く思う心情が続く。「心細く思い続けている」。継続。

---

**Q60. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

上り**つつ**下り**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「上り」「下り」は四段連用形。上っては下るのくり返し。「上ったり下ったりする」。反復。

---

**Q61. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

涙にむせび**つつ**書く。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「むせび」は四段「むせぶ」連用形。涙にむせぶ動作と書く動作が同時。「涙にむせびながら書く」。並行。

---

**Q62. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

月日を経（へ）**つつ**待つ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「経」は下二段「経（ふ）」連用形。月日が経つ状態が続く。「月日が経つのを待ち続ける」。継続。

**Q63. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

寝（ね）**つつ**覚め**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「寝」「覚め」は下二段連用形。寝ては覚めるのくり返し。「寝ては覚める」。反復。

**Q64. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

弓引き**つつ**馬を駆る。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「引き」は四段「引く」連用形。弓を引く動作と馬を駆る動作が同時。「弓を引きながら馬を駆る」。並行。

**Q65. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

恋（こ）ひ**つつ**も生く。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「恋ひ」は上二段連用形。恋い慕う心情が続く。「恋い慕い続けても生きる」。継続。「つつも」で「～し続けても」。

**Q66. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

浮かび**つつ**消え**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「浮かび」「消え」は連用形。浮かんでは消えるのくり返し。「浮かんでは消える」。反復。

**Q67. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

御簾（みす）巻き上げ**つつ**見る。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「上げ」は下二段「上ぐ」連用形。御簾を上げる動作と見る動作が同時。「御簾を巻き上げながら見る」。並行。

---

**Q68. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

嘆かれ**つつ**過ぐ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「嘆かれ」は四段「嘆く」未然形+自発「る」連用形。嘆かれる心情が続く。「自然と嘆かれ続けて過ぐす」。継続。

---

**Q69. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

灯（ともしび）消え**つつ**ともり**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「消え」「ともり」は連用形。消えてはともるのくり返し。「消えてはともる」。反復。

---

**Q70. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

ものを言ひ**つつ**笑む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「言ひ」は四段「言ふ」連用形。物を言う動作と笑む動作が同時。「物を言いながらほほえむ」。並行。

---

**Q71. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

思ひわび**つつ**月を見る。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「わび」は上二段「わぶ」連用形。思い嘆く心情が続く。「思い嘆き続けて月を見る」。継続。

---

**Q72. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

行き**つつ**休み**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「行き」「休み」は四段連用形。行つては休むのくり返し。「行つては休む」。反復。

---

**Q73. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

笛を吹き**つつ**舟こぐ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「吹き」は四段連用形。笛を吹く動作と舟を漕ぐ動作が同時。「笛を吹きながら舟を漕ぐ」。並行。

**Q74. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

待ち遠（どほ）に思ひ**つつ**経。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。待ち遠しく思う心情が続く。「待ち遠しく思い続けて過ごす」。継続。

**Q75. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

折り**つつ**挿（さ）し**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「折り」「挿し」は四段連用形。折っては挿すのくり返し。「(花を) 折っては挿す」。反復。

**Q76. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

念仏申し**つつ**息絶ゆ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。念仏を申す動作と息絶える動作が同時。「念仏を唱えながら息絶える」。並行。

**Q77. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

恋しと思ひ**つつ**音（おと）もせず。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。恋しいと思う心情が続く。「恋しいと思いつけて、便りもしない」。継続。

**Q78. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

開け**つつ**閉ぢ**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「開け」「閉ぢ」は下二段連用形。開けては閉じるのくり返し。「開けては閉じる」。反復。

---

**Q79. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

もの食ひ**つつ**物語す。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「食ひ」は四段連用形。物を食う動作と話す動作が同時。「物を食べながら話をする」。並行。

---

**Q80. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

旅寝し**つつ**日を重ねぬ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「し」はサ変連用形（旅寝す）。旅寝する状態が続く。「旅寝を続けて日を重ねる」。継続。

---

## 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

---

和歌の余情を含む継続など、文脈を総合して判別する。

---

**Q81. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

思ひ**つつ**寝（ぬ）ればや人の見えつらむ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「思ひ」は四段連用形。恋しく思う心情が続く。「(恋しく) 思い続けて寝たので、あの人が夢に見えたのだろうか」。小野小町の歌で名高い継続。

---

**Q82. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

風吹き**つつ**波立ち**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「吹き」「立ち」は四段連用形。吹いては立つのくり返し。「風が吹いては波が立つ」。反復。

---

**Q83. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

月を見**つつ**故郷を偲ぶ。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「見」は上一段連用形。月を見る動作と故郷を偲ぶ動作が同時。「月を見ながら故郷を偲ぶ」。並行。

---

**Q84. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

あひ見**つつ**飽かぬ別れ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「見」は上一段連用形。逢い見続けても飽き足りない。「逢い続けても満ち足りない別れ」。継続。和歌の余情。

---

**Q85. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

雪降り**つつ**消え**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「降り」「消え」は連用形。降っては消えるのくり返し。「雪が降っては消える」。反復。

---

**Q86. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

笛吹き**つつ**月を眺む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「吹き」は四段連用形。笛を吹く動作と月を眺める動作が同時。「笛を吹きながら月を眺める」。並行。

---

**Q87. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

わが背子を待ち**つつ**経（ふ）。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「待ち」は四段連用形。待つ状態が続く。「あの人を待ち続けて過ごす」。継続。万葉風の余情。

---

**Q88. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

行き**つつ**返り見**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「行き」「見」は連用形。行つては振り返るのくり返し。「行つては振り返る」。反復。

---

**Q89. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

涙落とし**つつ**経読む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「落とし」は四段「落とす」連用形。涙を落とす動作と経を読む動作が同時。「涙を落としながら経を読む」。並行。

---

**Q90. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

恋ひ死に**つつ**も名を惜しむ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「死に」はナ変「死ぬ」連用形。恋い焦がれる状態が続く。「恋い焦がれ続けても名を惜しむ」。継続。

---

**Q91. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

春来（き）**つつ**花咲き**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「来（き）」はカ変連用形。春が来ては花が咲くのくり返し。「春が来ては花が咲く」。反復。

---

**Q92. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

鏡を見**つつ**化粧（けさう）す。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「見」は上一段連用形。鏡を見る動作と化粧する動作が同時。「鏡を見ながら化粧する」。並行。

---

**Q93. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

古（いにしへ）を偲び**つつ**たたずむ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「偲び」は上二段連用形。昔を偲ぶ心情が続く。「昔を偲び続けてたたずむ」。継続。

---

**Q94. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

寄り**つつ**は離れ、離れ**つつ**は寄る。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「寄り」「離れ」は連用形。寄っては離れるのくり返し。「寄っては離れ、離れては寄る」。反復。

**Q95. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

灯火（ともしび）を掲げ**つつ**書を読む。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「掲げ」は下二段「掲ぐ」連用形。灯火を掲げる動作と書を読む動作が同時。「灯火を掲げながら書を読む」。並行。

**Q96. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

来（こ）ぬ人を待ち**つつ**今日も暮れぬ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「待ち」は四段連用形。待つ状態が続く。「来ない人を待ち続けて今日も暮れた」。継続。

**Q97. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

鳴き**つつ**飛び**つつ**す。

**答え：**反復の接続助詞「つつ」（～しては） **解説：**「鳴き」「飛び」は四段連用形。鳴いては飛ぶのくり返し。「鳴いては飛ぶ」。反復。

**Q98. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

手を取り**つつ**導く。

**答え：**並行の接続助詞「つつ」（～しながら） **解説：**「取り」は四段「取る」連用形。手を取る動作と導く動作が同時。「手を取りながら導く」。並行。

**Q99. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。**

別れを惜しみ**つつ**立つ。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「惜しみ」は四段「惜しむ」連用形。別れを惜しむ心情が続く。「別れを惜しみ続けて出立する」。継続。

---

### Q100. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

嘆き**つつ**ひとり寝（ぬ）る夜の明くる間は。

**答え：**継続の接続助詞「つつ」（～し続けて） **解説：**「嘆き」は四段連用形。嘆く心情が続く。「嘆き続けてひとり寝る夜の明けるまでの間は」。百人一首にも通じる継続・余情の用法。

---

## 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「つつ」の**前後の関係**をもう一度確認しましょう。

- **反復**「～しては」…**同じ動作のくり返し**。「寄せ**つつ**返す」「行き**つつ**帰り**つつ**」。
- **並行**「～しながら」…**2つの動作が同時**。「歩き**つつ**歌ふ」。
- **継続**「～し続けて」…**動作・心情が続く**。「物思ひ**つつ**」「嘆き**つつ**」。和歌の結びの前は余情の継続が多い。
- 直前は**必ず連用形**（体言には付かない＝「ながら」との違い。逆接の用法もない）。

前後が「くり返しか・同時か・続くか」を見れば、一瞬で見分けられます。

---

この問題集は無料です。古文の他の接続助詞（ながら・て・で）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太